

# v6 プラスでのポート開放の手順

## 【注意事項】

ポート開放は不用意に行うと外部からのセキュリティ低下を引き起こす恐れがあります。十分な考慮の上、設定はお客様自身の責任にて実施いただきますようお願いいたします。

ここでは例として NTT 東西のホームゲートウェイ PR-400 シリーズで設定する方法を説明します。

まずウェブブラウザで「<http://ntt.setup:8888/t/>」 または「<http://192.168.1.1:8888/t/>」にアクセスしてホームゲートウェイの設定画面を開きます。(ホームゲートウェイの IP アドレスを変更している場合は、**192.168.1.1** の部分を変更した IP アドレスに置き換えてください。)

設定画面で「IPv4 設定」を選択します。



画面右には 割り当てられた IPv4 グローバルアドレス と 利用可能なポート番号の一覧 が表示されます。開放するポートはこの一覧の中から選ぶ必要があります。

画面左のメニューから「静的 NAPT 設定」を選択します。



初回のみ、設定のためのユーザ名とパスワードを決めるように要求されます。

それぞれ任意のものを入力し、忘れないようにします。

新しいユーザ名	<input type="text"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード(確認)	<input type="password"/>

ユーザ名とパスワードでログインすると現在設定されている内容が表示されます。

新しく設定するには未設定のエントリ番号 (No.) を選択します。

IPv4設定		静的NAPT設定				
ソフトウェアバージョン 1.2.0		No.	対象プロトコル	公開対象ポート	宛先アドレス	宛先ポート
<ul style="list-style-type: none"><li>● <a href="#">Top</a></li><li>● <a href="#">IPv4/パケットフィルタ設定</a></li><li>● <a href="#">静的NAPT設定</a></li><li>● <a href="#">高度な設定</a></li><li>● <a href="#">ユーザ名/パスワードの変更</a></li></ul>		1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
		7				
		8				
		9				
		10				
		11				

エントリ編集画面で設定する内容を入力します。

対象プロトコルは、TCP または UDP を指定します。

公開対象ポートは、前述の利用可能なポート番号の一覧の中から1つ選んで入力します。

宛先アドレスと宛先ポートは、外部に公開する機器の LAN 内でのローカルアドレスとポート番号を入力します。

入力したら設定ボタンを押して保存します。

IPv4設定		静的NAPT設定 エントリ編集		
ソフトウェアバージョン 1.2.0		エントリ番号	1	
<ul style="list-style-type: none"><li>● <a href="#">Top</a></li><li>● <a href="#">IPv4/パケットフィルタ設定</a></li><li>● <a href="#">静的NAPT設定</a></li><li>● <a href="#">高度な設定</a></li><li>● <a href="#">ユーザ名/パスワードの変更</a></li></ul>		対象プロトコル	TCP ▼ TCPまたはUDPを指定	
		公開対象ポート	利用可能なポート番号	
		宛先アドレス	公開する機器のローカルアドレス	
		宛先ポート	公開する機器のポート番号	
				設定

以上で設定は完了です。